

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	【ネットワークコース:必修科目】【ソフトウェアコース:必修科目】						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特性を正しく理解し、使用できる。</li> <li>・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。</li> <li>・語彙・言葉の意味を正しく理解し、使い分けができる。</li> <li>・漢字・表記を正しく使用できる。</li> <li>・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を習得する。</li> </ul>						
日程と内容	授業計画の項目および内容 第1回：講義概要＋文法4 1回目 第2回：文法4 2回目 第3回：語彙・言葉の意味1 1回目 第4回：語彙・言葉の意味1 2回目 第5回：語彙・言葉の意味2 1回目 第6回：語彙・言葉の意味2 2回目 第7回：語彙・言葉の意味3 1回目 第8回：語彙・言葉の意味3 2回目 第9回：語彙・言葉の意味4 1回目 第10回：語彙・言葉の意味4 2回目 第11回：漢字・表記1 1回目 第12回：漢字・表記1 2回目 第13回：漢字・表記2 1回目 第14回：漢字・表記2 2回目 第15回：まとめと総合問題 定期試験						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%		100%			
授業到達目標の達成度	○授業態度は比較的良く学生は、基礎知識を身につけたのではないと思われる。						
反省点	○授業者の説明は真面目に聞けけれど、主体的に取り組む姿勢にやや欠けるところがあったこと。 ○後期当初から、授業に参加しない生徒の多さが、授業を活気のない雰囲気にしたこと。						
来年度の計画	1, 大学生らしい、日本語に対する知的好奇心をかき立てるような授業を組み立てること。 2, 1を動機付けにして、個々人の言語生活を考えるようにすること。						
授業評価アンケートに対するコメント	○日本語表現法で学んだ、基礎知識を、単なる知識にとどめるのではなく、実際の日本語表現に活用させることが大きな課題である。						
履修登録者数	79名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	66名	合格率	100%